

二七 嘉永七年八月 旗本保々氏より知行所四力村の割元代官申

渡し請書〔C〕

差上申御受書之事

御知行所上州勢多郡津久田村、池田権兵衛「并年寄源兵衛奉ニ申上」
 候、今般権兵衛江、上州三ヶ村「并武州埼玉郡三俣村、右四ヶ村
 割元」わりもと御代官被ニ仰付、為ニ御宛行あてがい「式人扶持」被ニ下置、源兵衛
 儀者右権兵衛添役「被ニ仰付」、御地頭所様江出府中者「苗字帯
 刀、中小性格、為ニ御宛行」米三俵ツ、被ニ下置候趣、被ニ仰渡、「
 難レ有承知奉レ畏候、然ル上者当「寅年と村々御収納者勿論、万事」
 引請取計仕、御差支無レ之様可レ仕候、「依レ之差上申御請書、如レ
 件

上州勢多郡佃村 つくだ

嘉永七寅年八月

権兵衛

源兵衛

御地頭所様

御役人中様